

# 百舌鳥・古市古墳群の顕著な普遍的価値

## 評価基準 (iii)

古墳は列島各地に16万基も存在していますが、その中でも日本古代の古墳時代の文化を代表し、また類まれな物証を提供しているのが百舌鳥・古市古墳群です。45件の構成資産は、この時代の社会政治的構造、社会的階層差および高度に洗練された葬送体系を証明しています。

## 評価基準 (iv)

百舌鳥・古市古墳群は、古代の東アジアにおける墳墓築造のひとつの典型です。古墳およびその有形の属性である埴輪や濠、葺石を施した幾何学的な段築をもつ墳丘は、この歴史的に重要な時代における社会階層の形成の上で、顕著な役割を果たしました。

## 百舌鳥・古市古墳群の立地

—東アジアとの交流の玄関口—

古墳時代と同時代の東アジアは、中国王朝分裂の時代情勢を背景に、朝鮮半島では高句麗、百済、新羅、伽耶、日本列島では倭が成長し、諸王権が抗争や連合を繰り返す動乱の時代でした。

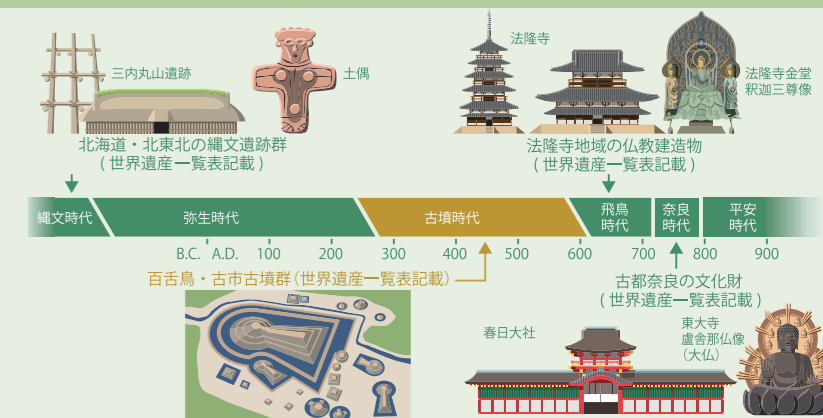
百舌鳥・古市古墳群の所在する大阪平野は、朝鮮半島や中国大陸の諸勢力との交流の窓口であり、古代日本の政治・文化の中心地の一つでした。



## 古墳築造の時代

—古代王権の形成と発展—

古墳時代は、狩猟採集を生業とした縄文時代および日本列島に稲作農耕が伝えられた弥生時代に後続し、列島各地で成長した諸勢力が政治連合を形成した時代でした。それは、大陸から統治システムや新たな宗教(仏教)が本格移入される直前であり、墳墓によって権力を象徴した独特な歴史的段階でした。



# 個性豊かな古墳に備わる3つの属性

## 属性 a)

密集した多様な古墳

百舌鳥・古市古墳群の2つのエリアに密集する古墳は、多様な墳形と400m以上から20m程度までにわたる規模のバリエーションを有しています。これらは、同地域、同時代に多様な墳墓が営まれた日本列島の古墳の特徴を最も明瞭に示すものです。

## 百舌鳥エリア

- 前方後円墳
- 帆立貝形墳
- 円墳
- 方墳

※ 灰色の古墳は構成資産ではありません。



## 古市エリア

- 22 津堂城山古墳
- 23 仲哀天皇陵古墳
- 24 鉢塚古墳
- 25 穴形天皇陵古墳
- 26 仲姫命陵古墳
- 27 網塚古墳
- 28 助太山古墳
- 29 中山塚古墳
- 30 八島塚古墳
- 31 古室山古墳
- 32 大馬塚古墳
- 33 穴形天皇陵古墳
- 34 東馬塚古墳
- 35 栗塚古墳
- 36 東山古墳
- 37 はさみ山古墳
- 38 藤山古墳
- 39 野中古墳
- 40 向藤山古墳
- 41 高馬塚古墳
- 42 浄元寺山古墳
- 43 青山古墳
- 44 峯ヶ塚古墳
- 45 白鳥陵古墳



## 属性 b)

4つの標準化された型式

百舌鳥・古市古墳群の古墳には、前方後円墳、帆立貝形墳、円墳、方墳という4種類があります。これらの型式は、全国各地の古墳の規範となった標準化されたものであり、本資産は古墳の設計や築造技術を牽引する存在でした。



## 属性 c)

入念で独特な葬送儀礼の証左

各古墳の埋葬施設は墳頂から掘り込まれた墓穴の中にしつらえられ、墳丘上面の各所に埴輪や葺石が施されています。墳丘上で葬送儀礼がとり行われ、その舞台として墳丘が飾られたことは日本列島における古墳の大きな特徴であり、百舌鳥・古市古墳群は、それを明瞭に伝える事例です。

